

豆田ゆうこの3月議会報告

一般質問から～教育の機会を均等に享受するために～

教育委員会は、福間南小学校区・福間中学校区の過密緩和策として校区再編を検討してきました。今回素案を提示し、市民と意見交換会をしました。

：福間南小学校区の再編はしない

：福間中学校区は、福間中学校もしくは福間東中学校のどちらかへの進学を選択できる校区選択制を導入。選択できる行政区は、光陽台1・2・3・南

“賛成意見もあり、概ね素案を受け入れてもらった”との見解です。

意見交換会では、教育環境整備については何も示されませんでした。

○福間南小学校の特別教室設置は、究極の選択では？

福間南小学校には、特別教室（家庭科室・図工室）がありません。教育委員会は、“当時の校長先生の判断で、家庭科室ではなく理科室を整備した”としていますが、究極の選択をさせたということです。学校からは、引き続き特別教室の設置希望が出されています。一般質問では“いずれ、教育現場と協議しながら”という答弁ですが、現場に責任を押し付けているように見えます。

○福間中学校はどうなる？

教育委員会は、意見交換会後に「通学区域審議会」（以下審議会）に諮問し、答申を受けて選択制導入を最終判断しました。審議会は“今回の選択制の導入は、根本的な緩和とはならない”とし、“校区外通学制度の推進”を意見としてつけています。校区外通学制度を過密緩和策としているように受け取れます。

福間中学校の校舎増築は、校区再編することを条件に3階建てになりました。校区選択制は、校区再編ではないので矛盾しています。令和8年に対象区の生徒がすべて福間東中学校を選択しても、10名ほどです。教育委員会は、“増築計画時とは生徒数推計が変わった”と説明しますが、審議会の答申にあるように校区外通学制度を緩和策として位置づけ、積極的に進めるべきです。

校区選択制

令和8年度入学予定の新中学1年生から、福間中学校または福間東中学校のどちらかを選ぶ

校区外通学制度

大規模校及び過大規模校から、そうではない学校への校区外通学を可能とする

予算

☆令和7年度予算が決定（市長選挙の関係で政策的予算は6月）

一般会計 295 億 5,427 万円 特別会計 133 億 9,537 万円

注目した予算：共働による未来創造支援事業業務委託料 1,035 万円

未来共想センター 愛称・キッカケラボ（中央公民館内）

昨年度より予算は減ったものの、市民等を応援する事業であり、着実に実績を重ねてきている点も注目しました。

但し、これ以上の減額は事業の後退を招くのではないかと危惧します。

この事業は、まちづくりのために何かしたいと思う個人と団体を応援する事業です。

キッカケラボは、市民・市民団体・企業・学校・行政等をつなぎ、新たな可能性を創り出す中間支援機関です。



キッカケ ラボ
KIKKAKE LAB.

人事

☆教育長が決定：薄俊哉氏

新市長のもと新教育長が任命されました。

反対した議案

☆こども誰でも通園制度を実施するための条例制定：ネット反対
就労に関係なく一定時間の保育を受けられる制度。

令和8年度から全国一律に実施予定。

- ・保育士不足の現状の中、新たな保育士の確保ができるのか。
- ・現場の声を一切聞いていない状況での条例制定。

現状での導入は、保育の現場の混乱を招き、利用したいと思ったときに利用できる状況ではありません。福津市にあった条例にするべきです。

☆国民健康保険税条例の改正：ネット反対

福岡県では、令和18年に県全体の保険税を県全体で統一する予定であり、現在統一化に向かって段階的に保険税を調節しています。福津市の医療費は、県内基準より低いので、統一されたら保険税は高くなります。

- ・こどもが多い世帯ほど負担が大きくなる改正に反対